

事務事業名	交通量調査事業	整理番号	33206-000
所管	企画課統計スタッフ		

●事務事業の位置付け

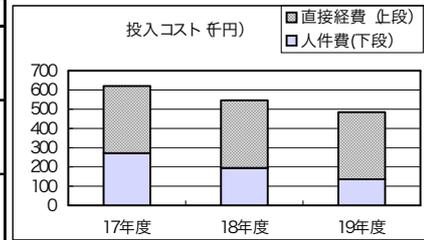
期間	昭和45年度～平成年度	根拠法令・要綱等	
基本計画における位置付け	基本政策	3-3 歩行者と環境に配慮した交通体系の整備	関連政策
	政策	3-3-2 交通関連施設・体系の整備	

●事務事業の内容

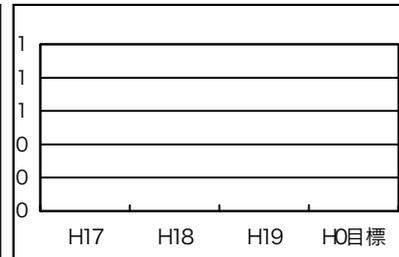
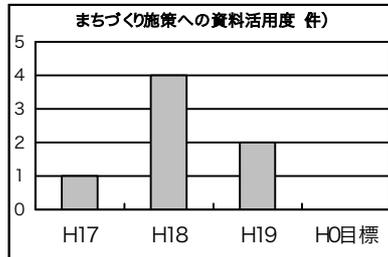
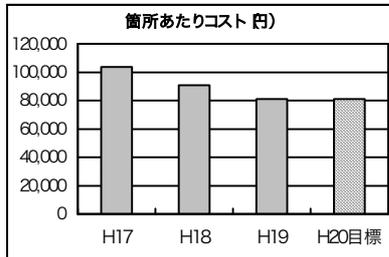
目的 (何のために)	御殿場市が独自に実施している調査であり、動向を把握するために周期的に行うもので、市内の主要幹線道路の交通量や車種などを明らかにすることで、各種施策の基礎資料を得る。
対象 (誰・何を)	各種施策の基礎資料となる車種別1時間毎の通行台数
手段 (どのようなやり方で)	毎年8月20日前後の日曜日と月曜日に市内6調査地点、朝7時から夜7時まで、1時間毎の通過台数を記録
成果 (どのような状態にしたいか)	商業やサービス業などを行おうとする人が出店計画などの参考にしたり、各種まちづくり施策の基礎資料として充分活用する。
事務事業の背景・住民の意向	経年の傾向や変化を調べるためには、定時、定点での観測が必要になるため、昭和45年から継続してきた経緯を含め、これからも継続実施したい。
見直し改善の経過	幹線道路(国道138・246号線)は24時間調査であったが、昭和63年度から現行の12時間調査とした。

●事務事業の実績・投入コスト

年度	事務事業実績
平成17年度	国道138号小原南交差点、国道246号JAアグリーン前、旧138号JA本店前、旧246号湯沢秋葉神社前、滝が原街道福井堂車庫前、国道469号老人センター前の6箇所で定点観測
平成18年度	国道138号小原南交差点、国道246号JAアグリーン前、旧138号JA本店前、旧246号湯沢秋葉神社前、滝が原街道福井堂車庫前、国道469号老人センター前の6箇所で定点観測
平成19年度	国道138号小原南交差点、国道246号JAアグリーン前、旧138号JA本店前、旧246号湯沢秋葉神社前、滝が原街道福井堂車庫前、国道469号老人センター前の6箇所で定点観測



●評価指標



●事務事業の評価

観点別・一次評価(担当部署の評価)		コメント	
観点別評価	必要性	★★★★	毎年、交通量のピーク時(旧盆)の交通量動態調査について、ボーイスカウトに委託し経費節減をはかる中円滑に実施している。都市計画等各計画策定の基盤となるもので一定の評価ができるものである。
	有効性	★★★★	
	効率性	★★★★	
一次評価	A	★★★★★	今後の方向性 継続
二次評価(行政評価委員会の評価)		コメント	
二次評価	B	☆☆☆	現状維持のもと、今後の事業展開を考えた中で、具体的な道路整備の優先順位をはじめとする政策決定の資料としての活用を図ること。 今後の方向性 継続

●改革プラン

平成20年度からの対応	従前からの定点観測を継続する。
平成21年度以降の対応	従前からの定点観測を継続する。
改革により予想される成果	従前からの利用者への提供が継続可能となる。